

2023 年度実施民俗芸能の紹介

稲武廻り太鼓（豊田市） 稲武廻り太鼓クラブ

【概要】1570年、武田信玄の旗下、伊奈郡代秋山信友が兵1,750騎を率いて、突如美濃国恵那郡上村（恵那市）に侵入しました。東濃衆と奥三河衆は連合し、それぞれ300余騎に雑兵を加えた5,000ばかりでこれに応戦しました。この連合軍によって打ち鳴らされた太鼓の、奥三河地方に伝わったものが「稲武太鼓」です。稲武の各地区では、それぞれの祭があり、同じ由来をもつ太鼓や笛などが伝わってきました。現在は、稲武祭りや地区のイベントに参加して披露しています。



乙川祭礼行事（半田市） 乙川祭礼保存会

【概要】乙川祭礼は名古屋城築城の折り、当地を流れる浅井川（現：稗田川）より出土した大石を荷車で名古屋まで運び、その謝礼で車を飾ったことが起源であると言い伝えられています。最大の見せ場は八幡社の参道急坂を大型の山車が坂上げ、坂下しをする様子で、江戸時代より近隣からの見物も多いものでした。

現在も若家、御幣納め、御条目送り等の古い祭りの形態をいくつも受け継いでおり、市の支援もあり、盛り上がった状態が続いています。



神楽太鼓（大治町） 大治太鼓保存会

【概要】江戸時代より尾張地方の農村地帯では五穀豊穡と住民の安全を願って、春・秋の祭礼に際して、黄金に輝く「屋形神楽」を引き出し、競り合っ



デンデンガッサリ（岡崎市） デンデンガッサリ保存会

【概要】デンデンガッサリは、約500年前から山中八幡宮に伝わる御田植神事で、「デンデンガッサリヤー」という歌い出しで始まることから「デンデンガッサリ」と言われています。

毎年1月3日の午後2時から行われ、前歌・後歌・せりふ・所作により年間の農作業を表現し、天候の恵みと稲の豊作を表す大鏡餅を牛の背にのせ、牛が重さに耐えきれず倒れる所作が特徴的です。1972年に岡崎市指定文化財となりました。



牛久保の若葉祭（豊川市） 宗教法人 八幡社

【概要】若葉祭は1701年に著された『牛久保密談記』によれば、牧野成時（古白）が若宮殿（八幡社）に参詣の折に、主君今川氏から馬見塚（豊橋市の吉田城付近）へ築城するよう命を受けたのは当社の御恵みと喜び、これより毎年連歌の発句を詠んで若葉に結び神前に供えて牧野家の武運長久を祈ったことから、この祭りを若葉祭と呼ぶようになったといわれています。例年、4月7、8日に近い土曜日に宵祭り、日曜日に本祭りが行われます。2009年に愛知県の無形民俗文化財に指定されました。

